

## 2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 27 日作成)

小委員会名	構造物の振動制御小委員会		主 査 名：山本 雅史 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島 一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築構造物の振動制御技術を健全に普及させるとともに、日本の技術を国際的に発信する。</p> <p>初年度：2017 年大会 PD の開催 (免震構造小委員会と共同)。</p> <p>2 年度：日本の制振技術に関する最新の研究および適用事例を英文でまとめる。制振に関する国際会議 (7WCSCM) において各委員により発表を行う。</p> <p>3 年度：シンポジウムの開催。 本会新国際英文ジャーナル『JAR』において制振の特集号を企画。</p> <p>4 年度：日本の制振技術に関する最新の研究および適用事例を英文でまとめる。第 17 回世界地震工学会議において各委員により発表を行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：山本 雅史 (竹中工務店) 幹事：栗野 治彦 (鹿島建設)、古橋 剛 (日本大学) 委員：五十子 幸樹 (東北大学)、伊藤 麻衣 (建築研究所)、檜本 信隆 (日建設計)、金子 健作 (東京工業大学)、小檜山 雅之 (慶應義塾大学)、佐藤 栄児 (防災科学技術研究所)、富澤 徹弥 (明治大学)、火箱 義文 (カヤバシステムマシナリー)、福喜多 輝 (清水建設)、藤谷 秀雄 (神戸大学)、欄木 龍大 (大成建設)、吉田 治 (大林組)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2019 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. シンポジウム「振動制御技術の現状 —世界における日本の技術」 『同名資料』 参加者数 96名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 計画どおり 2019 年 12 月 20 日に制振のシンポジウムを開催し、定員 (100 名) いっぱい申し込みをいただくことができました。 2. 学会英文誌『JAR』で日本の制振技術に関する特集号を、2019 年 3 号として予定通り発刊することができた。(掲載論文をシンポジウム資料の付録とした) 3. 第 17 回世界地震工学会議で構造物の振動制御に関するコンカレントセッション (各委員が発表を行う予定) を企画し、採択された。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 設置期間をもう少し短くし、新陳代謝を早めたほうが良いかもしれない